

子供の貧困問題に対する各相談窓口の連携体制は

問 子供の貧困問題は、多面的、複合的な面を持っているが、各相談窓口の連携体制は。

答 福祉事務所長／子供の貧困問題の解決には、行政、学校、地域、事業所、ボランティア、民生委員、地域住民といった多方面の方々との連携、協働が求められている。現在、三十四機関で構成される要保護児童対策地域協議会や生活困窮者に対して地域全体で包括的な支援体制で臨む沼津市生活困窮者自立支援ネットワーク会議において、それぞれの専門性を持ったケースワークを通して連携し、支援の充実を図り、早期の

片岡 章一 形式一 括

課題解決に努めている。

問 子供の貧困問題に対して各相談窓口が連携して対応していく有効な手段として、東京都足立区では、相談内容を共有するためのつなぐシートを活用して相談体制を整えているが、本市において活用する考えは。

答 福祉事務所長／つなぐシートなどのツールにより情報の一本化、共有化を図ることは、相談者の負担軽減や効率的で的確な支援の提供が期待できることから有効な手段の一つであると考えており、今後、他市の事例などを参考にその効果や課題についての調査研究を行っていく。

災害時に備え、乳幼児用液体ミルクの備蓄を

問 災害備蓄品として、持ち運びが簡単な上に、粉ミルクのようにお湯で溶かす必要がなく、常温ですぐに飲むことができる乳幼児用液体ミルクが大きく注目されている。災害時には水道や電気、ガスなどが止まる事態も想定され、お湯の確保が難しく、災害等による心労等でお母さんの体調も変化し、母乳が出にくくなることも考えられることから、赤ちゃんとお母さん、家族の大きな助けとなる液体ミルクを災害備蓄品として備蓄する考えは。

答 危機管理監／液体ミルクは、粉ミルクと違い、水が不要で、温める

長田 吉信 形式一 括

必要がなく、手間もかからないことから、災害時に役立つということも認識している。しかし、液体ミルクは保存期間が半年から一年と非常に短く、期限内での処分や補充をする必要が生じるため、備蓄するには管理面、コスト面で課題がある。そのため、備蓄という方法ではなく、災害救助に必要な物資の調達に関する協定書に基づき、発災時に液体ミルクを調達するなどの方法で対応していきたいと考えている。



在住外国人支援の現状とその必要性についての認識は

問 本市における在住外国人について、①人数の現状と傾向は。②支援の必要性に対する認識は。③在住外国人への支援の内容は。

答 企画部長／①本市の在住外国人数は、令和元年九月一日現在、四千四百五人で、近年の推移から増加傾向であると認識している。②本市では、国際交流を推進するとともに、今後増加が見込まれる外国人労働者を円滑に受け入れていくためにも日本語の習得や多言語によるコミュニケーション支援、教育、労働環境、防災、医療などの生活支援、地域住民に対する意識啓発など、さま

平野 謙 形式複 合

ざまな分野における支援が必要であると認識している。③本市では、市役所内に英語、中国語、スペイン語の補助や、日常生活相談、多言語での情報発信を行っている。また、日常生活における支援として、在住外国人を対象とした日本語講座や防災講座を開催し、弁護士会などの協力を得て国際結婚、離婚、在留資格、雇用、労働条件等についての相談会を実施しているほか、在留外国人が地域社会へ参加しやすくなるため、異文化交流イベントの開催や、ボランティアによる支援を実施している。

新貨物ターミナル整備事業の事業期間延長に関する市民への周知は

問 新貨物ターミナル整備事業の事業期間延長に関する市民への周知は。

答 沼津駅周辺整備部長／新貨物ターミナル整備事業については、平成十六年九月十四日から令和二年三月三十一日までの事業期間を令和八年三月三十一日までの六年間延長する事業認可の変更が、令和元年七月四日に認可され、八月二十日には国の官報及び県の公報に告示された。本市においては、八月二十日から都市計画法の手続として、当該認可図書在市役所において公衆の縦覧に供するとともに、その旨を告示し、事業地内の看板等により周知も行って

梅沢 弘 形式一 問一 答

いる。

問 他市に存在しないような三十年間にもわたる沼津市長期財政に関する試算は大きな問題があると考ええるが、本試算を見直す考えは。

答 財務部長／本試算は、沼津市公共施設マネジメント計画や沼津駅周辺総合整備事業などによる財政の影響が相当長期にわたることから、作成時点で妥当性のある条件のもと、これらの計画や事業が達成可能であるかを数値で示したものであり、長期に影響を及ぼす事業や計画が新たに生じないことから、見直しは考えていない。